

頭を右にさした左手の人差指を僅かな間隔を置いて互に突き合うようにする。鎗で突き合う動作をかりて、意見をたたかわせることを表わしたものだ。

金 黄色——光る。

銀 白——光る。

近視 掌を内側に向けた掌を眼に近く持ったとき、近視の人の物を見る真似。

金魚 掌を下に向けて、指頭を左にさした右手の人差指中指薬指の三指を曲げては伸ばししながら右へ移動させる。三指は金魚の尾鰭

金庫 金属—扉を閉じる—鍵

扉を閉じるは、指頭を上にした掌を内側にした両手を前で少しの間隔を置いて左右に並らべてから、両手の掌を同時にくりと前向けにして、両手をびったりと扉を閉じるように合わす。鍵はその左手をそのままにして

その手甲に右手で鍵をかける真似。

銀行「金銭」を表わした両手を胸の左右脇にどっしりと置くようにする。銀行に充分な金が積み備えられていること。

近所 「近い」と同じ手まね。

金属 「金曜日」と同じ手まね

勤勉 一生懸命——仕事（働く）

勤務 仕事——責任。

金曜日（金属）右手の親指の指頭を口もとに、上歯の下辺りにかざす。噛んで固い表情。「金属」の手まねともなる。

ク

悔い 悪かった——遺憾

空気 人差指と中指の指頭を鼻腔に向け前方から引き寄せては、前へ返えず（鼻で空気を吹くこと）そして、掌を下に向けた手を、

胸の前の空間を一渉り廻わして見る。

空想 「思い出」と同じ要領の手まね。

官司 柏手を打つ真似をして、男性を示す。

草 「青」を表わして、掌を内側に向け指の間を開いた五指の指頭を上にした両手を腹の前で左右に並らべて、そのまま僅かに上へ伸び上らせる。地上から生え上った草。

叢 五指の指頭を上にして掌を内側にした両手を前に並らべて交互に上げ下げする。草の生え繁った様。

臭い(腐る) 「空気」と同じ要領で、人差指と中指の指頭を鼻腔に向け、顔をしがめて、不快な表情をする。或は鼻をつまむ。

鯨 後頸に握った手をやってから、五指をパツと開きながら、上へ上げる。(鯨の背から水を吹く)次に魚を表わす。

苦心(工夫) 右の握り拳で、頭の右側を叩いて(頭を悩ます)から左の腕を叩たく。

(手間をかける)

薬 右手の薬指の指頭で左手掌の上をこまかくかき廻わす。他の四指は開いたまま

癖 掌を下に向けた左手の手甲の手首近く



の上で、右手の人差指と親指で輪をつくったのをのせ、(人差指の方をつける)、輪を開いて、人差指をま

っすぐに伸ばす。

嘴 上にさした親指の指頭の上に、隣りのまげた人差指をかぶせると嘴の形になる。それを口許につける。

国 五指の指頭を右にさし掌を内側に向けた右手。五指の指頭を左にさし掌を内側に向けた左手。この両手を左右に互の中指の指頭